

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	美しい村づくり推進事業	
事業主体 (連絡先)	原村 長野県諏訪郡原村 6549 番地 1	
事業区分	①地域協働の推進に関する事業	
事業タイプ	ソフト	
総事業費	819,141 円	(うち支援金： 647,000 円)

事業内容

美しい村づくりを推進するため、学校や地域住民と手を携え、地域協働による事業が推進できた。

- ①住民主体による講演会開催
- ②フォト等コンテストの実施
特別審査・一般審査員による受賞作品の決定
表彰式開催、受賞作品の展示
- ③地域や団体を主体とした桜の植樹



【講演会の様子】

【目標・ねらい】

- ①住民が「美しい村づくり」を目指し、自ら取り組む機会とするための事業として、住民協働で桜の植樹を実施する。
- ②SNSによるコンテスト作品の公募

事業効果

- ①講演会
地域住民が主体となって企画立案した講演会が、保健衛生自治協議会と共催で実施できた。(株)いろどりを通じ、豊洲市場とのつながりができたことで、さらに特産品の発掘を目指す。講演会参加者 73 人
 - ・「日本で最も美しい村」連合加盟村徳島県上勝町から講師を招へい (株)いろどり 大畑氏
 - ・原村こめっこクラブによる米粉料理の試食
 - ・(株)いろどりの仲介で、食用ほうずきの販路拡大 (豊洲市場売込)。さらに新たな特産品発掘を目指す。
- ②フォト・文芸作品等コンテスト、表彰式の実施。
 - ・応募作品数 (総数) 166 点 (内 SNS 50 点)
 - ・特別 23 人、一般審査員 80 人による審査。
 - ・SNSによる公募・拡散
- ③桜の植樹 「標高差のある桜の里」を目指す。
 - ・希望する区や団体に 350 本の苗木を配布。15 団体 100 人が参加し住民協働で桜の苗を植樹した。

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・地域住民協働で桜の植樹や講演会コンテストなど事業が実施できた。
- ・小中学生から大人まで幅広い年齢層が参加できた。東京を始めた村内外の人々が SNS を通じコンテストに応募できる機会を作った。また、多くの参加者から原村に興味を持ってもらうことができた。
- ・都内の大学生がポスター制作を村に滞在し制作。恒例となりつつある。

今後の取り組み

これまでの 3 年間、「美しい村づくり」を目指し、美しい村づくり推進委員会が中心となって、住民協働で事業に取り組んできた。講演会やコンテストは恒例事業となり新たな分野を一つずつ新設していきながら実施する。また、「標高差のある桜の里」事業も 20 年先を見据え、引き続き実施していく。これまでの取り組みをもとに、原村 100 景の計画がまとまった。

来年度、村が景観計画行政団体移行に向けた策定委員会立上にあたり、これまで考察してきた「美しい村づくり」の意見や要望などを活用してもらうべく提言していく。